

武蔵野市2009年度予算編成に関する要望書

【重点要望事項】

- 1、2009年度は4年に1回の手数料・事業の見直しの年です。国による負担増が市民の暮らしを脅かす中、市民の負担となる公共料金の引き上げや市民サービス削減は絶対に行わないこと。
- 2、高齢者を「じゃまもの」扱いするとして国民の怒りが集中している後期高齢者医療制度は廃止するように国へ意見をあげられたい。
- 3、介護保険制度の拡充を図られたい。
 - ①保険料の値上げをしないこと。特に、低所得者の介護保険料の負担が抑えられるよう対策をとること。
 - ②保険料減免を至急実施されること。
 - ③市独自の利用料減免制度の対象者の拡大、5%助成の継続などサービスを拡大されること。
 - ④特養ホームの待機者の解消のために引き続き特養ホームの新規設置をすすめること。
- 4、物価高で苦しんでいる市民生活に対し、市として出来る経済支援について研究、具体化されたい。国保税の引き下げ、75歳以上の年金のみ、又は無収入世帯へのゴミ袋配布、光熱費などの助成を考えられたい。
- 5、30人以下学級(少人数学級)を早期実現されたい。
- 6、保育園の需要は年を追ってたかまっており、父母の切実な要望となっている。待機児の解消にむけて計画的に認可保育園を増設されたい。
- 7、子どもの医療費を義務教育終了まで所得制限なく無料にされたい。
- 8、若者の自立支援の施策を強化されたい。
- 9、環境を破壊し、都財政を圧迫する外環道と地上部(外環ノ2)に反対されたい。
- 10、憲法改悪に反対し、日本国憲法を暮らしに生かす市政をさらにつらぬかれたい。
- 11、「事務事業・補助金の見直し」にあたっては「住民の福祉の増進を図ることを基本」とし、市民サービスを低下されないようされたい。

